

木曜教室スピーチ大会

3月22日に木曜教室スピーチ大会を開催しました。世界9カ国17名の受講生が、慣れない日本語で自己紹介や自国と日本の習慣の違い、或いは日本に移住するまでの数奇な運命や苦労について話してくれました。香港から来た女性は10歳でラオスの暴動に遭ってタイに逃れ、その後2年遅れて香港の小学校に編入できたとか、今年初めて日本式の正月を祝ったという中国人は、方法は違っても新年を祝う気持ちに変わりはないと話してくれました。大半の人達は、味噌汁大好きとか早く桜を見たいとか、もてなしの心は相手を大事にする事で、目配り気配り心配りは日本の文化ですなどと、日本に住み続けたい気持ちの滲み出たスピーチが多かったです。来月中国に帰るといふ女性は、立川の綺麗な空を忘れたいと語ってくれました。

